

解決の見通しをもたせる【可視化する】Yチャート

【校種・学年】 小学校第5学年

【教科・領域】 算数科

【実践の概要】

- 1 単元名 13 割合
- 2 単元の目標 割合, 百分率の意味と表し方を理解し, それらを用いることができる。
- 3 本時の実際

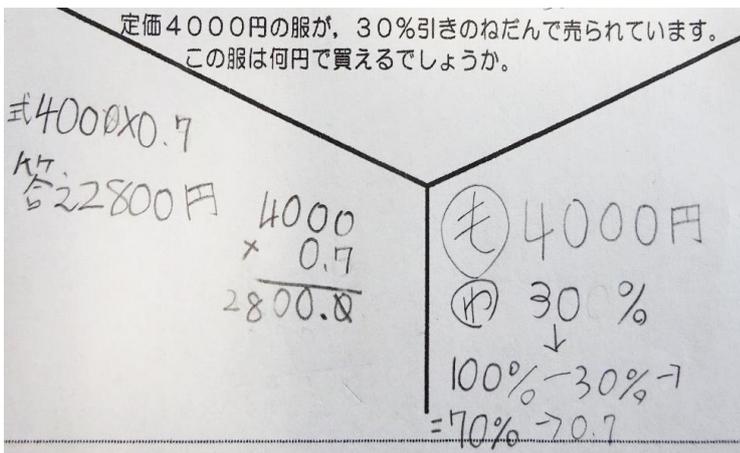
(1) 本時の目標

身のまわりの事象を数理的に捉え, 割合についての学習などを活用して問題を解決することができる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○前時の確認 ・割合, 比較量, 基準量の求め方の確認 ・割合の表し方 (小数で, 百分率で) の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習したことを使って問題を解き, 説明しよう。 </div>	
展開	○問題文の数値が示す内容を Y チャート右に整理する。 ○ 整理した内容をもとにして立式し, 答えを求め る。 ○答えの求め方を説明する。	視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 日常生活では, 割合の学習を活用できる場面がある。 </div> ○練習問題を解く。	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○1枚の Yチャートに問題, 問題内容の整理, 式と答えを整理することにより, 見通しをもって問題を解くことができた。

■Yチャートは, 問題を把握し解決の見通しを立てる点では有効であったが, 考えの交流をメインとするなら別の思考ツールを活用すればよかった。